

## 第2回 栃木県立馬頭高等学校 学校運営協議会 報告

I 開催日時 平成30年6月25日（月） 14:50～17:15

II 開催場所 栃木県立馬頭高等学校 会議室

III 出席委員 岡 道吉 大島 富美子 大金 武夫 大金 浩 小川 浩子  
小川 正典 田島 良久 益子 洋子 笹沼 達彦  
欠席委員 大金 市美

### IV 内 容

#### 1. 開 会

2. 報 告 司会 大金武夫先生

(1) 第1回学校運営協議会の結果について 馬頭高等学校 教頭 吉田嘉宏

(2) 生徒対象「学校魅力化アンケート」の結果について 県教委総務課 主任 星野陽太

##### ① 普通科の結果

##### ア 志望動機・馬高の良さ・現在の魅力・長所について

質問1 どのようにして馬高を知ったか

○学校・家族からの紹介

質問2 志望の動機

○能力・学力にあっている

○通学しやすい

↓

地元からの進学率が高い馬高ならではの結果

||

保護者、地域を大切にしながら、よりいっそう中学校や保護者が馬高をすすめられるような学校作りをすべき

質問3 実際に入学しての魅力点

○授業がわかりやすい。

○学校の雰囲気がよい。

○那珂川学が魅力的。

↓ 質問2と合わせて判断するに

☆入学してみても入学した生徒に合わせた授業が行われていることがわかる。

☆実際に入学して、学校の雰囲気がよいと回答した生徒も多く、中学校などへは入学した生徒が感じている良さをアピールできるとよい

##### イ 学校生活の充実度・魅力的にするための方策

質問4 学校生活が充実しているか

○充実度は3年が高い

○2年は（あまり）充実していないが多い

理由は「楽しくない」「めんどくさい」

質問5 どのような授業を充実したらよいか

○基礎的な内容を学びたい。

○就職にむけた授業。

○ICTを利用した授業

↓ 特徴として

進学ではなく就職に向けた知識や技術を視野に入れた授業を要望

質問6 どのような教育活動が充実したらよいか（授業以外）

○学校行事の充実（質問7ともリンク）

質問7 自由記述

○エアコン トイレの修繕 （設備）

○学校祭や体育祭を更に盛り上げて地域の方に来て頂きたい

○交通手段への要望

## ② 水産科の結果

### ア 志望動機・馬高の良さ・現在の魅力・長所について

質問1 どのようにして馬高を知ったか。

○家族の紹介

○一日体験

質問2 志望の動機

○自分の学びたい学科

質問3 実際に入学しての魅力点

○専門的な学習ができる

### イ 学校生活の充実度・魅力的にするための方策

質問4 学校生活が充実しているか

○全体的な傾向として、「普通科より充実している」という回答が多い

水産科3年は充実していないが多かった

→理由：もっと水産科の実習がしたい

普通教科のレベルを高めて欲しい

質問5 どのような授業を充実したらよいか

○資格の習得

○基礎的内容

○身近なことから地球環境まで広く学ぶ

普通科と同様に、基礎的内容をしっかりしつつも就職を視野に入れた要望が多い

普通科と違う点は地球環境に関するような要望

質問6 どのような教育活動が充実したらよいか（授業以外）

○学校行事の充実

○水産科をもっと引き立たせるような行事があるとよい

## ③ 教職員の結果 ※吉田教頭の報告

### ア 学校生活の充実度・魅力的にするための方策

質問1 どのような授業を充実したらよいか

○「基礎的な内容」が圧倒的 73% 生徒のデータと合致

○就職・資格の習得という点も、生徒のデータと合致

○「少人数」「習熟度」43% ←これが職員は多い→ 生徒の希望と相反

※生徒はA L、I C T希望

→生徒の目線にたった授業も考えていく必要

→同時に、少人数などによるきめ細かな授業も必要

質問2 どのような教育活動が充実したらよいか（授業以外）

○ボランティアが最も多い（7割）が、ばらけている事実も

質問3 自由記述

○教員数を増やすなど運営面。

○交通手段の拡充。

○寮の設置

### (3) 起業家精神の育成に向けた生徒の取組について

校長より

県外募集の学校の説明会（中学生対象、東京で開催）

- ・どこの高校も下宿先や寮の問題に苦慮
- ・年頃の生徒を預かることについての受け入れ先の負担が大きい
- ・下宿受け入れ先を新たに開拓するのは難しい
- ・本校の生徒が起業家育成事業のプランを考えてプレゼンを予定

水産科1年の取り組み

「馬頭高校の寮を作って経営しようプロジェクト」

○68人しかいない同級生→来年も少なかったら馬高はなくなるかもしれない

○馬高が町にもたらしてきたものとは

- ・地元志向が多い、卒業生が町を支えている
- ・水産科 養殖等での活躍

○なぜ入学者が増えないか

- ・PR不足
- ・普通科に特色がない
- ・就職希望者の進路指導は充実
- ・交通についても、町が助成

○水産科志願者はもっと増えてもよいのでは

- ・寮がない→ 起業家精神育成事業
  - ・ニーズの検証 HPでアンケートしたい
  - ・他団体からのアドバイス
  - ・プラン立案→議会や町の意見をいただきたい
  - ・寮は共同生活の場所 自治的活動をしっかりしたい  
イベントへの積極的参加  
地域交流の推進
- ・将来的展望 定員増加が狙えるかも  
将来的に、那珂川町の住民になってもらえるように

〈質疑〉

質問：生徒が集まらない理由の中で寮が無いからということだったが、そもそも那珂川町の15歳人口はどれくらいで、何割が馬高で、何割が他校へ出て行くのか。

答え：半分くらいが他校へ進学している。

質問：寮が無くても、地元がみんな通いたいとなれば、1学年150名くらいになる。出ている人たちはどういうニーズで出ているか。

答え：自分の希望にあった学科を選択している。

寮を作るのは、水産科が中心だが、将来的には普通科も受け入れるきっかけにしたい。

輪切りで進学するので、町内からの生徒の流出がある。

質問：4人はなぜ、馬高の水産科に進学したのか。

答え：3人は魚の勉強がしたい。1人は馬高にきたい。

大金委員長より

昔からこの問題については議論されてきている。今の発表は一石を投じる発表だったと思う。次回、寮がある只見町を視察する予定なおで、寮については、それらをきっかけに熟議していく。

#### 4 熟議（ワークショップ）

テーマ 「子供たちを育てるために用意したい挙いく活動」

ゴール 「地域の即戦力の育成」

- ・ 基礎的な知識と社会に貢献できる体力
- ・ 主体的に判断し行動できる力
- ・ 他社と協働できるコミュニケーション能力

どの一歩目が正しいのか。

ゴールを目指すためにできそうなこと。一人10個あげて熟議

#### 5 その他

第3回 学校運営協議会のスケジュールについて

内容：福島県立只見高等学校視察

只見高校の特徴

- ・ 41名中の進学率が高い
- ・ アットホームな寮生活
- ・ 極上の自然留学 寮の試験が先にある
- ・ 驚愕の取り組み！

|          |          |
|----------|----------|
| 7月25日（水） | 7時半 本校出発 |
|          | 11時着     |
|          | 15頃まで視察  |
|          | 18時帰着    |

#### 6 閉 会